



【第10回教育フォーラムを開催しました】

平成31年1月20日（日）、改善センターで第10回大玉村教育フォーラムが開催され147人の方に参加いただきました。

第1部はフリートークで、参加者の興味のあるテーマ毎に分かれ「家庭ができること、地域ができること、学校ができること」について話し合い、第2部は、文部科学省視学委員・福島県復興アドバイザーの貝ノ瀬滋氏をお迎えして「これからの大玉村の教育に期待すること」と題して講演をいただきました。

教育フォーラムは、保護者・地域の方・校園の先生と立場の違う方々が集まり、大玉村の教育（子どもたちのこと）をどのようにしていくかを話し合う貴重な機会となっています。色々な立場の方々が手を携えて、次代を担う子どもたちのため、家庭・学校・地域がより一層力を尽くしていかなくてはならないと感じるフォーラムとなりました。

【第1部 フリートークの様子】



フリートーク前に、参加者全員で「大玉村の教育」について振り返りました。さあ、フリートークのスタートです！



それぞれ参加者の興味・関心のあるテーマなので、より活発な意見交換がなされました。

【第2部 講演 「これからの大玉村の教育に期待すること」】



大玉村はコミュニティ・スクール制度を導入して今年で8年目となりました。全国でもコミュニティ・スクール制度が普及してきた今、貝ノ瀬先生からこれから更に大玉村の教育をより良くしていくためには、コミュニティ・スクールの更なる発展と地域学校協働活動の充実が必要になると提言いただきました。

【第一部フリートークでの話し合いの内容】

『子どもたちのために』

各班で「家庭ができること・地域ができること・学校ができること」について真剣かつなごやかに話し合われました。ほんの一部ではありますが、ご紹介します。

<p>《家庭学習》</p> <ul style="list-style-type: none">・自己管理能力をつけること。・目標と見通しが持てる学び。・学習環境づくりが必要。・内容を充実（学校で工夫）・なりたい自分、目標をはっきりさせる。	<p>《あいさつ》</p> <ul style="list-style-type: none">・各校内のあいさつは良くなってきている。「日本一のあいさつ運動」実施。・あいさつは家庭から。・大人はあいさつできているか？・登下校見守り時にあいさつで交流。
<p>《基本的生活習慣》</p> <ul style="list-style-type: none">・生活習慣の改善（睡眠・体を動かす）・朝の時間に余裕を持たせる。・家庭での生活は親が手本（礼儀・姿勢）・みんなで語り合いながら食べるとよい。・やってあげちゃうのをこらえて…。	<p>《体力向上》</p> <ul style="list-style-type: none">・自力登下校（極力送迎しない）。・施設の活用。・スポ少等で体力作り。色々なスポーツ行事へ参加する。・公園がほしい。
<p>《体験活動》</p> <ul style="list-style-type: none">・地域の大人がもっと頑張る必要がある。・地域の人が集まるイベント等を開催。・活動の様子、成果を発信、交流。・親子と一緒に体験できる取り組み。・自分達で活動を作っていく体験学習。	<p>《家庭のルールづくり》</p> <ul style="list-style-type: none">・親と子の会話づくりが大切。・子育てについて家族で会話が必要。・家族同士できちんと挨拶をする。・メディアへの関わり方を考える。・家庭のルールは親と子で。
<p>《親の悩み・心配事》</p> <ul style="list-style-type: none">・保護者の悩み相談室がほしい。(各校に)・父親の役割・存在。会社の理解、理解の働きかけ。・当たり前のことでも褒める。怒ってもフォローする。	<p>《将来の大玉村》</p> <ul style="list-style-type: none">・学校での総合学習・行事 ⇒ 郷土愛・家庭格差への取り組み、支援。・学校…ティーチング→コーチング・キャリア教育。大人を通してみせること。目で見て感じさせる環境づくり。

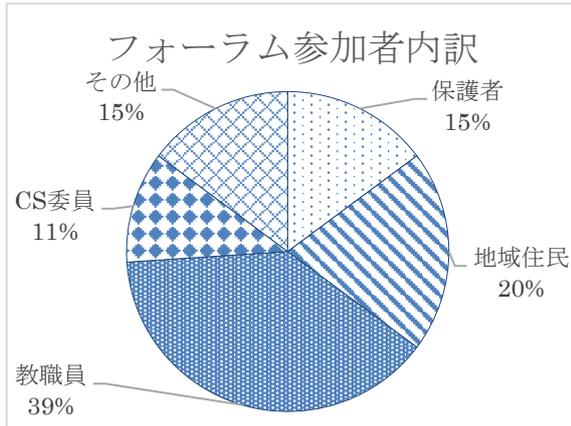
以上のような内容がだされました。皆様も参考に何か始めてみてはいかがでしょうか？

【教育フォーラムアンケート結果】

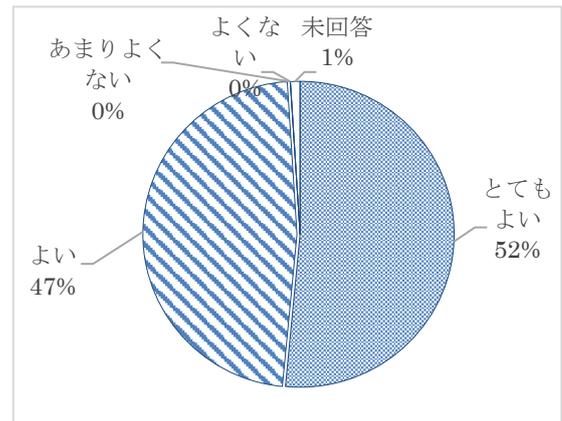
今回のフォーラムには、事務局も含め 147 名の参加がありました。特に学校の先生方には大変多くのご参加をいただき、先生方の教育に対する熱意を感じることができました。フォーラム終了後に行ったアンケートでは 70%の方にご協力いただきました。結果をみると、フォーラムの内容（1部・2部）については、おおむね「よかった」とあり、教育フォーラムが参加者の皆様にとってプラスになったものとして評価できると思われます。また、自由記述でもさまざまなご意見を寄せていただきましたので、一部ご紹介いたします。

○参加者アンケート結果

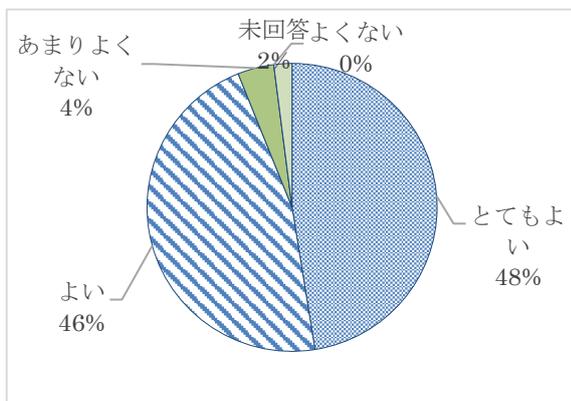
参加者数 147 名



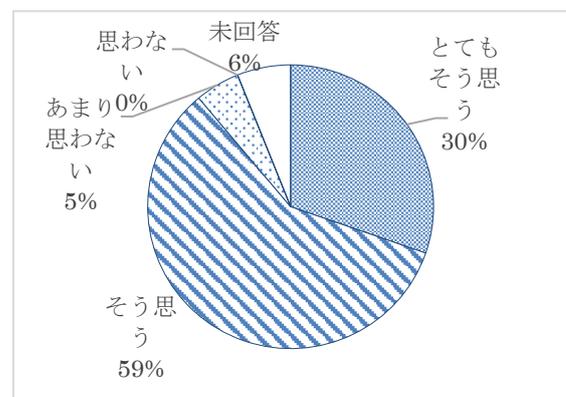
Q, 第1部のフリートークはいかがでしたか



Q, 第2部の講演はいかがでしたか。



Q, この話合いで何か始めようと思われましたか。



《自由記述》

第1部のフリートークはいかがでしたか？

- ・日常思っていたこと、悩んでいたことを話せて良かった。(保護者)
- ・若い方の意見や考えを聞くことができて良かった。(地域住民)
- ・様々な先生方、地域の方と子どもの課題について話す機会はありませんので、話すことができて良かった。もっと保護者と話してみたい。(教職員)

第2部の講演はいかがでしたか？

- ・コミュニティ・スクールは、学校・家庭・地域が協力して活動していくことが大事である。(地域住民)
- ・学校を良くしようという動きが地域全体の活性化、よくすることにつながる事が分かりました。(教職員)

その他の感想・ご意見

- ・積極的にボランティアに参加したいと思う。(地域住民)
- ・フリートークはとても為になるものだったので、もっと多くの人に来て知ってもらいたい。(保護者)
- ・地域、家庭とどんどん関わりを持ち、住民に近い、親しみやすい学校・園になっていくように努力していきたいと思う。(教職員)
- ・まずは、自分からスマホやテレビの使用時間、方法を見直さなければならないと思う。(CS委員)

・少しでも大玉村の発展のため、力になれることがあれば協力していきたいと思います。
(地域住民)

～多くの方のご参加ありがとうございました～

【コミュニティ・スクール委員会について】



大玉村コミュニティ・スクール委員会は、地域住民、保護者、教職員が協働で、子どもたちのために何ができるのかを考える委員会です。そのために年9回の委員会を開催しています。今年度は、平成31年2月25日に開催した第9回の委員会で、無事終了を迎えました。

今年のテーマは「熟議」ということで、小グループに分かれ、熟慮と議論

を重ねてきました。会議を重ね、熟議の中から生まれた提案を生かせるよう工夫しながら取り組んできました。来年度は改選のため、新たな体制となりますが、更に充実したコミュニティ・スクール委員会にしていきたいと思ひます。

平成29、30年度は25名の委員で運営してきました。これまでご尽力くださった委員の方々をご紹介します。ご協力いただき、ありがとうございました。

(敬称は略させていただきます。)

会 長 伊藤和弥

副会長 後藤みづほ 矢吹吉信 武田伸一

学校園 鈴木豊 渡辺光太郎 伊藤比呂美 後藤弥和子 佐藤文江

委 員 (順不同)

大山明美	遠藤雷太
舘下愛理	田辺将裕
鈴木裕也	渡邊雄一
遠藤八重子	斎藤信一
國分初男	渡辺孝志
渡辺久和	國分純一
遠藤綾香	吉田都
佐藤勇人	今野裕三



H31/3/19 発行 おおたま学園コミュニティ・スクール委員会
(事務局：大玉村教育委員会内 連絡先：48-3138)